

小講演会

ネットいじめ—イギリスの現状と対策

日 時：2008年8月25日（月）14：00～16：00（終了後、懇親会を予定）
場 所：立命館大学衣笠キャンパス 創思館 4F 401-402号室
定 員：40名（事前申込要：下記E-mail、Faxにてお申し込み下さい）
参加費：無料
申込・お問合せ先：立命館大学人間科学研究所 事務局
TEL：075-465-8358 FAX：075-465-8358 E-mail：ningen@st.ritsume.ac.jp
* 講演は主に英語で行われますが、逐次通訳の準備がございます。

小講演会

テーマ：ネットいじめ—イギリスの現状と対策

講師：Peter K. Smith 氏（ロンドン大学ゴールドスミスカレッジ教授、学校・家族研究ユニット所長）

コーディネーター：荒木穂積（立命館大学産業社会学部・同大学院応用人間科学研究科教授）

人間科学研究所子どもプロジェクトの企画として、「ネットいじめ—イギリスの現状と対策」をテーマに小講演会を開催致します。

講師のPeter K. Smith 氏はイギリス・London大学Goldsmith's College 学校・家族研究ユニット所長で、いじめ研究の世界的権威のお一人です。日本発達心理学会/日本家族心理学会の招聘で来日されました。関西へ足をのびしてくださり、このたび本学でのワークショップ開催が実現することになりました。ワークショップでは、現代のいじめ研究の焦点ともなっているネットいじめの現状と対策について欧米での研究動向を中心に話して頂きます。興味をお持ちの方はぜひご参加ください。

ワークショップ終了後、関西の実践家・研究者をまじえての懇親会を予定しています。こちらもご参加いただくと幸いです。（懇親会参加の事前申込は不要です）

ワークショップ参加希望の方は事前に上記申込先までお申し込み下さい。人数に限りがございます。定員に達し次第、お断りする場合がありますので、ご了承ください。

Peter K. Smith 氏プロフィール

Peter K. Smith 先生はロンドン大学ゴールドスミス校心理学部教授でいじめ研究の第一人者です。これまで子どもの社会性の発達研究に長くたずさわってこられ、特に、遊びとケンカ（攻撃性）にかかわる研究・著書が多く、90年代になってからはより実践的ないじめ研究を研究テーマとしてこられました。先生が所長を務める Unit for School and Family Studies は、欧州各国をはじめ中国、韓国、日本といった東アジアからの留学生、客員研究員も多いです。ここを拠点にいじめや家族研究についての多くの国際比較研究がなされてきました。

著書は、Smith, P.K. & Hart, C.H. (eds), (2002). Blackwell Handbook of Childhood Social Development. Oxford: Blackwell.

Smith, P.K. (ed). (2003). Violence in schools: The Response in Europe. London: Routledge.

